

〔症例概要〕

No.	患者		1 日投与量 投与期間	副作用	
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	男 70代	一過性脳虚血 発作 (なし)	75mg 5 ヶ月	インスリン自己免疫症候群 投与開始前 (日付不明) TIA (一過性脳虚血発作) で入院。糖尿病の既往無し。 投与開始日 一過性脳虚血発作のため本剤投与開始。 投与6 ヶ月後 (病院搬送日) 起床時のふらつき・意識障害をきたし近医へ搬送された。搬送時血糖値：33mg/dLと著明な低値を認めた。翌日採血にて空腹時血糖値：14mg/dL, インスリン：127.5μ IU/mLとインスリン過剰分泌を認めており、インスリン抗体濃度$\geq$5000nU/mL, インスリン抗体結合率89.8%とインスリン抗体濃度・結合率ともに著明な高値を認めた。また、Scatchard解析では高結合能，低親和性の特徴を有しており、インスリン自己免疫症候群による低血糖と診断した。 病院搬送日より7日後 本剤を中止したところ (本剤の投与中止日は不明), 血糖推移および抗体濃度の改善傾向を認めた。	
臨床検査値					
				副作用発現時 (投与6 ヶ月後)	
血糖値 (mg/dL)				33	
空腹時血糖値 (mg/dL)				14	
インスリン (μ IU/mL)				127.5	
インスリン抗体濃度 (nU/mL)				$\geq$ 5,000	
インスリン抗体結合率 (%)				89.8	
併用薬：不明					
企業報告					